

1. 構造名：
通気見切り金物・両面化粧繊維混入スラグせっこう板張／木製下地軒裏

2. 仕様の寸法：
仕様の寸法を表1に示す。

表1 仕様の寸法

項 目	仕 様
軒の出	88～2000mm(壁勝ち) 63～2000mm(軒勝ち)
軒の形状	勾配又は水平

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項目	仕様														
被覆材	<p>構成：①及び②</p> <p>①基材 材料：繊維混入スラグせっこう板 組成(質量%)：</p> <table data-bbox="430 425 1085 694"> <tr> <td>スラグ等</td> <td>20(±4)～40(±4)</td> </tr> <tr> <td>セメント</td> <td>9(±2)～20(±2)</td> </tr> <tr> <td>せっこう</td> <td>18(±3)～35(±3)</td> </tr> <tr> <td>無機質系混和材(マイカ等)</td> <td>20(±2)～38(±1)</td> </tr> <tr> <td>有機質系繊維(パルプ等)</td> <td>5(±1)～8(±1)</td> </tr> <tr> <td>有機質系混和材(パルプ粉等)</td> <td>0(+1)～1(±1)</td> </tr> <tr> <td>無機質系繊維(ガラス繊維等)</td> <td>1(±1)～7(±1)</td> </tr> </table> <p>②化粧(表裏面) 材料：1)～12)の一、又は組合せ</p> <ol data-bbox="430 761 829 1209" style="list-style-type: none"> 1) アクリルウレタン系樹脂 2) アクリル系樹脂 3) アクリルシリコーン系樹脂 4) ふっ素系樹脂 5) エポキシ系樹脂 6) ポリシロキサン系樹脂 7) ポリウレタン系樹脂 8) イソシアネート系樹脂 9) シリコーン系樹脂 10) 塩化ビニル系樹脂 11) ポリエステル系樹脂 12) 無機系 <p>塗布量(固形分量)：表裏面合計 230g/m²以下 表面 140g/m²以下 裏面 90g/m²以下</p> <p>有機質量(固形分量)：表裏面合計 110g/m²以下 表面 80g/m²以下 裏面 30g/m²以下</p> <p>密度：0.87(±0.15)g/cm³以上 厚さ：12(-1.2)mm以上 最小板厚：11(-1.2)mm以上 容積欠損率：1.0%以下 表面形状：1)又は2) 1) エンボス 2) 平滑</p>	スラグ等	20(±4)～40(±4)	セメント	9(±2)～20(±2)	せっこう	18(±3)～35(±3)	無機質系混和材(マイカ等)	20(±2)～38(±1)	有機質系繊維(パルプ等)	5(±1)～8(±1)	有機質系混和材(パルプ粉等)	0(+1)～1(±1)	無機質系繊維(ガラス繊維等)	1(±1)～7(±1)
スラグ等	20(±4)～40(±4)														
セメント	9(±2)～20(±2)														
せっこう	18(±3)～35(±3)														
無機質系混和材(マイカ等)	20(±2)～38(±1)														
有機質系繊維(パルプ等)	5(±1)～8(±1)														
有機質系混和材(パルプ粉等)	0(+1)～1(±1)														
無機質系繊維(ガラス繊維等)	1(±1)～7(±1)														

つづく

通気見切り金物	<p>本体</p> <p>材料：①～⑳の一</p> <p>①冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 4305)</p> <p>②熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 4304)</p> <p>③耐海水ステンレス鋼板</p> <p>化学成分(質量%)：</p> <p>C ≤0.020、Si ≤0.80、Mn ≤1.00、P ≤0.030、S ≤0.015、Ni 17.00～19.50、Cr 19.00～21.00、Mo 5.50～6.50、N 0.16～0.24、Cu 0.50～1.00</p> <p>④高耐錆性ステンレス鋼板</p> <p>化学成分(質量%)：</p> <p>C ≤0.010、Si ≤1.00、Mn ≤1.00、P ≤0.040、S ≤0.007、Ni ≤0.60、Cr 22.00～23.00、Mo 1.50～2.50、N ≤0.020、Nb+Ti ≥16(C+N)</p> <p>⑤塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3322)</p> <p>⑥塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3318)</p> <p>⑦塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3312)</p> <p>⑧溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3321)</p> <p>⑨溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3317)</p> <p>⑩溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3302)</p> <p>⑪ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744)</p> <p>下地金属板による種類：SG、S、SA、SE、SC、SM、SU</p> <p>⑫建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (国土交通大臣認定指定建築材料：MSTL-0064、0065、0069、0070)</p> <p>⑬一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101)</p> <p>⑭熱間圧延軟鋼板及び鋼帯(JIS G 3131)</p> <p>⑮冷間圧延鋼板及び鋼帯(JIS G 3141)</p> <p>⑯電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3313)</p> <p>⑰溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3314)</p> <p>⑱溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板</p> <p>⑲溶融亜鉛-11%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板</p> <p>⑱、⑲の母材の材質：冷間圧延鋼板及び鋼帯(JIS G 3141)</p> <p>⑳溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3323)</p> <p>厚さ：0.4mm 以上</p> <p>換気孔の寸法(1孔あたり)：5(±1)×16(±3)mm 以下</p> <p>換気孔間隔：2.5(±1)mm 以上</p> <p>換気孔面積：106.7(±10)cm²/m 以下</p>
---------	--

<p>通気見切り金物</p>	<p>表裏面化粧 仕様：あり又はなし 材料：1)～10)の一、又は組合せ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) エポキシ・ポリエステル樹脂系塗料 2) エポキシ樹脂系塗料 3) ポリエステル樹脂系塗料 4) アクリル樹脂系塗料 5) アクリルウレタン樹脂系塗料 6) ポリウレタン樹脂系塗料 7) ウレタン樹脂系塗料 8) ふっ素樹脂系塗料 9) アクリルシリコン樹脂系塗料 10) 無機質系塗料(ポリシロキサン系等) <p>有機質量(固形分量、但し、本体の材料⑤～⑦及び⑩は塗装又は被覆との合計)： 表裏面合計 600g/m²以下(単位長さあたり換算：85.2g/m以下) 表面 300g/m²以下(単位長さあたり換算：31.9g/m以下) 裏面 300g/m²以下(単位長さあたり換算：53.3g/m以下)</p>
	<p>水密材 仕様：あり又はなし 材料：1)及び2)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) EPDM 系 見掛け密度：0.04(±0.01)～0.11(±0.02)g/cm³ 寸法：厚さ6(±3)mm×幅10(±3)mm 2) 固定用粘着剤 材質：a)～c)の一 <ol style="list-style-type: none"> a) 合成樹脂系 b) アクリル系 c) ゴム系 厚さ：0.34(±0.05)mm以下 幅：1)の幅以下
	<p>接合部材 仕様：あり又はなし 材料：通気見切り金物(本体)と同じ 表裏面化粧：通気見切り金物(本体)と同じ 厚さ：0.25～1.0mm 長さ：10(±2)～150(±2)mm</p>

つづき

通気見切り金物	<p>加熱発泡材 仕様：あり又はなし 材料：1)及び2)</p> <p>1) グラファイト系加熱発泡材 組成(質量%)： 膨張性黒鉛 30(±5) 粉末充てん材 20(±5) ゴムバインダー 15(±5) 耐熱性繊維類 20(±5) 難燃剤・ゴム薬品等 15(±5) 寸法：厚さ 1.5(±0.2)～5(±0.5)mm×幅 8(±0.5)～20(±0.5)mm</p> <p>2) 固定用粘着剤 仕様：あり又はなし 材質：a)～c)の一 a) アクリル系 b) ゴム系 c) 合成樹脂系 厚さ：0.34(±0.05)mm 以下 幅：1)の幅以下</p>
軒天支持金具	<p>材料：通気見切り金物(本体)と同じ 表裏面化粧の材料：通気見切り金物(本体)と同じ 有機質量(固形分量)：300g/m²以下(一個あたり換算：3.7g/個以下) 厚さ：1.5mm 以上 取付間隔：485mm 以下</p>
軒天支持クリップ	<p>材料：通気見切り金物(本体)と同じ 表裏面化粧の材料：通気見切り金物(本体)と同じ 有機質量(固形分量)：300g/m²以下(一個あたり換算：1.7g/個以下) 厚さ：1.2mm 以上 取付間隔：485mm 以下</p>
野縁1	<p>材料：日本農林規格の品質を満足する木材(製材、枠組壁工法構造用製材、集成材、枠組壁工法構造用たて継ぎ材又は単板積層材) 断面寸法：33(±3)×30(±3)mm 以上</p>
野縁2	<p>仕様：あり又はなし(軒の出 600mm を超える場合はあり) 材料：野縁1 と同じ 断面寸法：40(±4)×30(±3)mm 以上</p>
野縁3	<p>仕様：あり又はなし 材料：①又は② ①日本農林規格の品質を満足する木材(製材、枠組壁工法構造用製材、集成材、枠組壁工法構造用たて継ぎ材、単板積層材、構造用パネル又は合板) ②平成12年建設省告示第1452号第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材 断面寸法：25(±3)×30(±3)mm 以上</p>
野縁4	<p>仕様：あり又はなし 材料：野縁3 と同じ 断面寸法：25(±3)×30(±3)mm 以上</p>
野縁5	<p>仕様：あり又はなし 材料：野縁3 と同じ 断面寸法：25(±3)×30(±3)mm 以上</p>

つづく

つづき

野縁 6	仕様：あり又はなし 材料：野縁 3 と同じ 断面寸法：25(±3)×30(±3)mm 以上 設置位置：図 8 参照
吊り木 1	仕様：あり又はなし 材料：野縁 3 と同じ 断面寸法：25(±3)×30(±3)mm 以上 間隔：1910mm 以下
吊り木 2	仕様：あり又はなし 材料：野縁 3 と同じ 断面寸法：25(±3)×30(±3)mm 以上 間隔：1910mm 以下
吊り木 3	仕様：あり又はなし 材料：野縁 3 と同じ 断面寸法：25(±3)×30(±3)mm 以上 間隔：1910mm 以下
平行吊木	仕様：あり又はなし 材料：野縁 3 と同じ 断面寸法：40(±4)×30(±3)mm 以上
鼻隠し下地A	材料：野縁 1 と同じ 断面寸法：30(±3)×112(±3)mm 以上、 鼻隠し下地 B を用いる場合 30(±3)×72(±3)mm 以上
鼻隠し下地B	仕様：あり又はなし 材料：野縁 1 と同じ 断面寸法：30(±3)×40(±3)mm 以上
受材	仕様：あり又はなし 材料：野縁 1 と同じ 断面寸法：30(±3)×40(±3)mm 以上

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項目	仕様
被覆材目地部材	仕様：(1)～(3)の一、又は組合せ (1)突き付け目地 (2)金属ジョイナー 材質：鋼製又はステンレス鋼製(塗装鋼板及びめっき鋼板を含む) 厚さ：0.27mm以上 形状：H形又はT形 (3)合いじゃくり、本実
防水部材	仕様：あり又はなし 材質：1)～3)の一 1)合成ゴム系 2)合成樹脂系 3)アクリル系 厚さ：1(±0.1)mm以下 幅：軒の出が88～1200mm未満の場合 30(±5)mm以下 軒の出が1200mm以上の場合 50(±5)mm以下
通気止め部材	仕様：あり又はなし 材料：①又は② ①通気見切り金物(本体)と同じ 厚さ：0.25～1.0mm 表裏面化粧の材料：通気見切り金物(本体)と同じ 有機質量(固形分量、但し、通気見切り金物(本体)の材料⑤～⑦及び⑪は塗装又は被覆との合計)： 表裏面合計 300g/m ² 以下 ②カラーアルミ 厚さ：0.25～1.0mm 表裏面化粧の材料：通気見切り金物(本体)と同じ 有機質量(固形分量)：表裏面合計 300g/m ² 以下
防水措置材	仕様：あり又はなし 材料：鋼製又はステンレス鋼製 厚さ：0.25mm以上
留付材	被覆材固定用： 材料：①又は② ①リングくぎ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径φ2.3×長さ38mm以上 ②ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径φ2.3×長さ38mm以上 留付間隔： 軒の幅方向 307mm以下 軒の出方向 野縁ごとに留め付ける。但し、野縁6に留め付ける場合には野縁1への留め付けは不要とできる。

つづく

留付材	通気見切り金物固定用： 材料：ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：φ3.5(±0.2)×長さ45(±3.5)mm以上 留付間隔：475mm以下
	軒天支持金具固定用： 材料：ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：φ3.8(±0.2)×長さ45(±3.5)mm以上 留付数：軒天支持金具1個当たり2本以上
	野縁1固定用： 材料：①又は② ①くぎ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径φ2.75×長さ50mm以上 ②ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：呼び径φ2.75×長さ50mm以上 留付間隔：1910mm以下
	野縁2固定用(野縁2を用いる場合)： 材料：野縁1固定用留付材と同じ 留付間隔：1910mm以下
	野縁3固定用(野縁3を用いる場合)： 材料：野縁1固定用留付材と同じ 留付間隔：1910mm以下
	野縁4固定用(野縁4を用いる場合)： 材料：野縁1固定用留付材と同じ 留付間隔：1910mm以下
	野縁5固定用(野縁5を用いる場合)： 材料：野縁1固定用留付材と同じ 留付間隔：1910mm以下
	野縁6固定用(野縁6を用いる場合)： 材料：野縁1固定用留付材と同じ 留付間隔：1910mm以下
	吊り木1固定用(吊り木1を用いる場合)： 材料：野縁1固定用留付材と同じ 留付間隔：1910mm以下
	吊り木2固定用(吊り木2を用いる場合)： 材料：野縁1固定用留付材と同じ 留付間隔：1910mm以下
	吊り木3固定用(吊り木3を用いる場合)： 材料：野縁1固定用留付材と同じ 留付間隔：1910mm以下
平行吊木固定用(平行吊木を用いる場合)： 材料：野縁1固定用留付材と同じ 留付間隔：1910mm以下(軒出方向)	

つづき

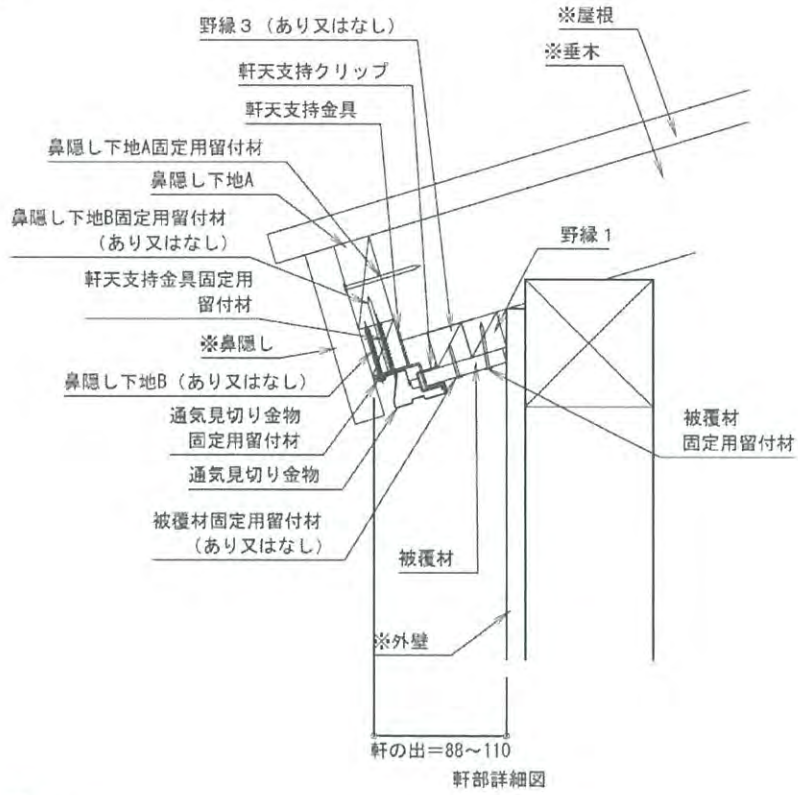
留付材	<p>鼻隠し下地 A 固定用：</p> <p>材料：①又は②</p> <p>①くぎ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径φ3.05×長さ65mm以上</p> <p>②ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：呼び径φ3.05×長さ65mm以上</p> <p>留付間隔：950mm以下</p>
	<p>鼻隠し下地 B 固定用(鼻隠し下地 B を用いる場合)：</p> <p>材料：①又は②</p> <p>①くぎ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径φ3.05×長さ65mm以上</p> <p>②ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：呼び径φ3.05×長さ65mm以上</p> <p>留付間隔：475mm以下</p>
	<p>受材固定用(受材を用いる場合)：</p> <p>材料：①又は②</p> <p>①くぎ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径φ2.75×長さ50mm以上</p> <p>②ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：呼び径φ2.75×長さ50mm以上</p> <p>留付間隔：475mm以下</p>

5. 仕様の構造説明図：

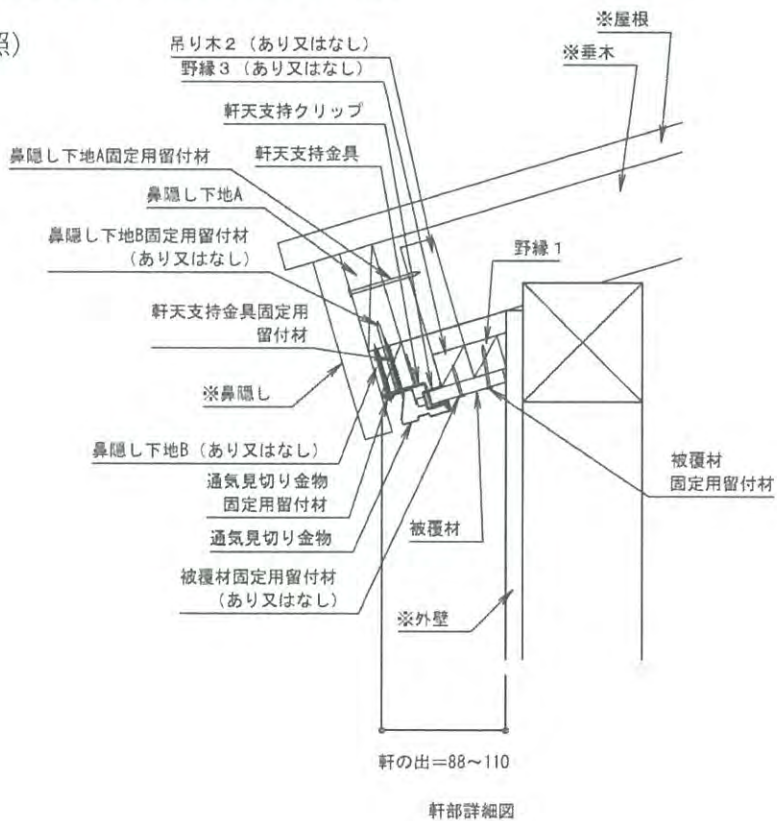
仕様の構造説明図を図1～図17に示す。

図中の単位については、特記のない限りmmとする。

軒の出 88~110mm の場合
 軒の形状：勾配
 壁勝ち
 (軒勝ちは図 17 参照)



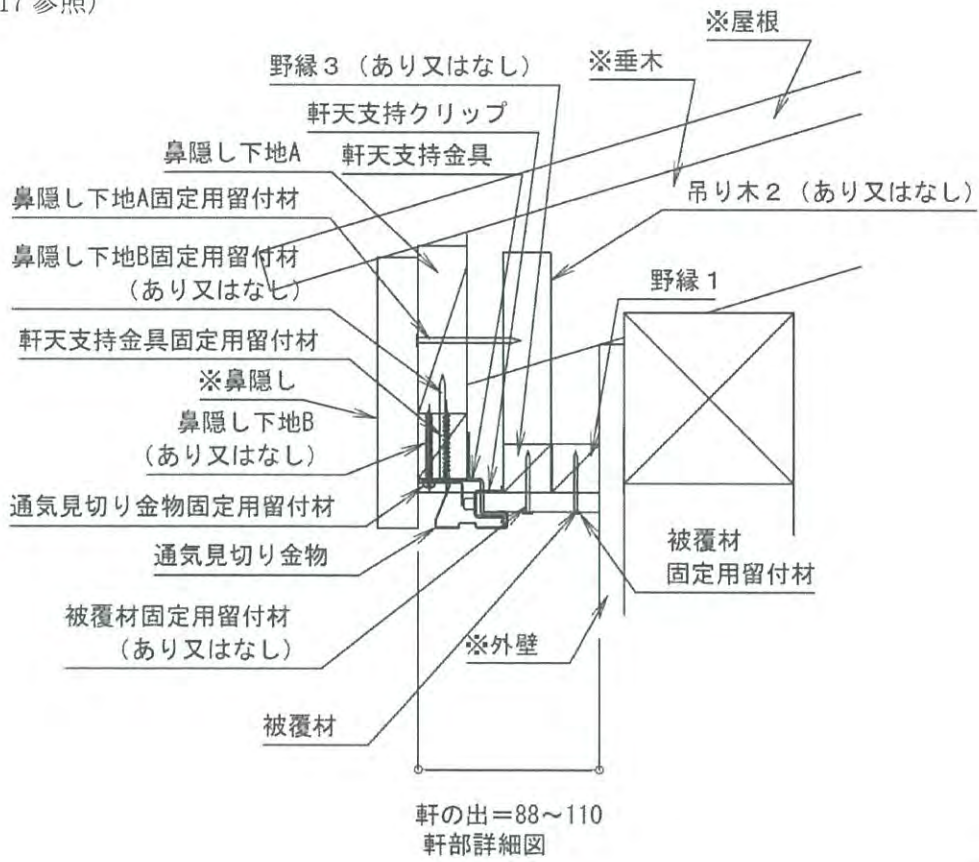
軒の出 88~110mm の場合
 軒の形状：勾配(野縁を直接垂木に固定しない場合)
 壁勝ち
 (軒勝ちは図 17 参照)



※評価対象外

図 1 構造説明図

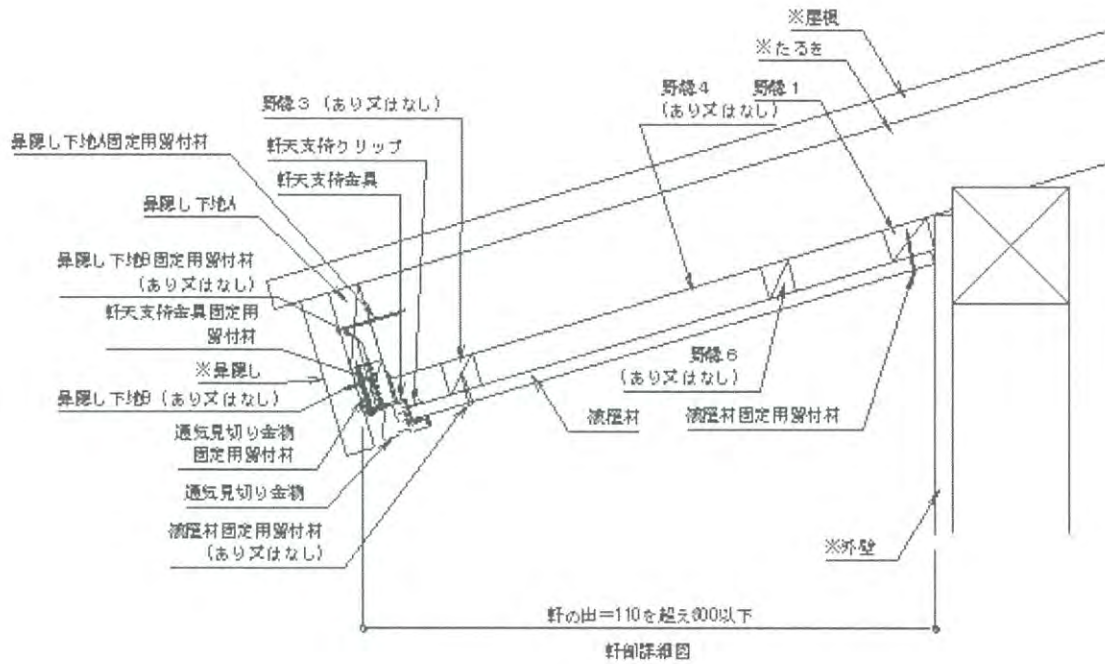
軒の出 88~110mm の場合
 軒の形状：水平
 壁勝ち
 (軒勝ちは図 17 参照)



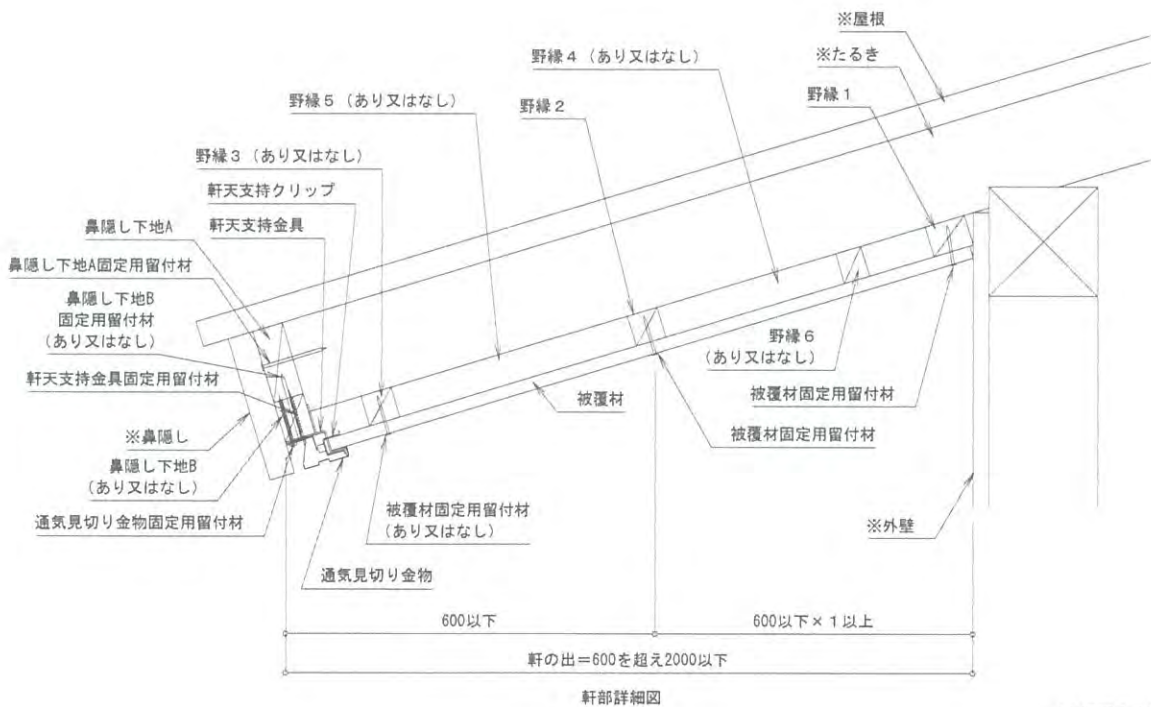
※評価対象外

図 2 構造説明図

軒の出 110mm を超え 600mm 以下の場合
 軒の形状：勾配
 壁勝ち
 (軒勝ちは図 17 参照)



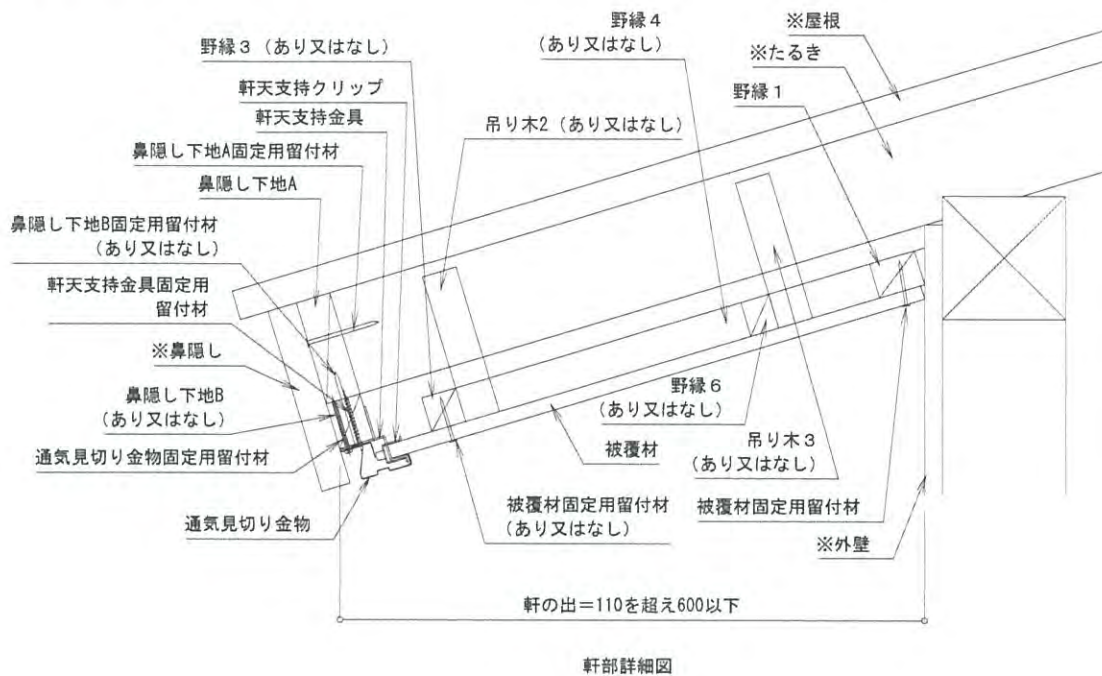
軒の出 600mm を超え 2000mm 以下の場合
 軒の形状：勾配
 壁勝ち
 (軒勝ちは図 17 参照)



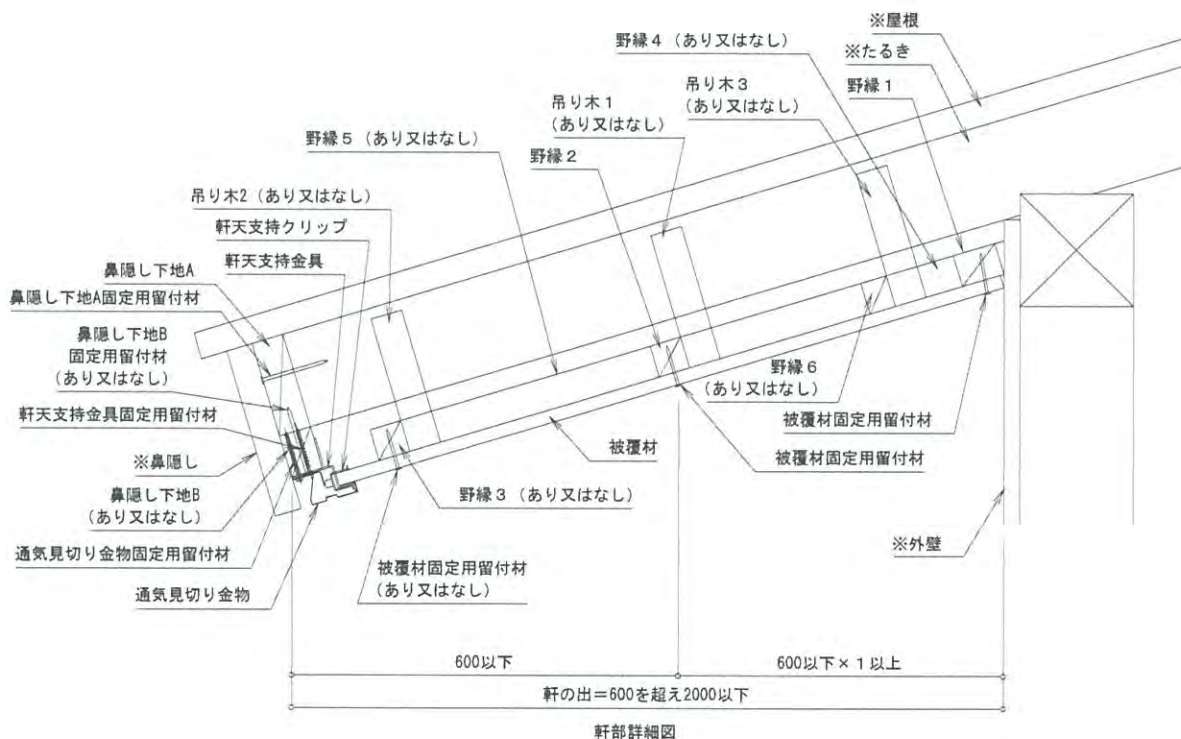
※評価対象外

図 3 構造説明図

軒の出 110mm を超え 600mm 以下の場合
 軒の形状：勾配(野縁を直接垂木に固定しない場合)
 壁勝ち
 (軒勝ちとは図 17 参照)



軒の出 600mm を超え 2000mm 以下の場合(吊り木あり)
 軒の形状：勾配(野縁を直接垂木に固定しない場合)
 壁勝ち
 (軒勝ちとは図 17 参照)



※評価対象外

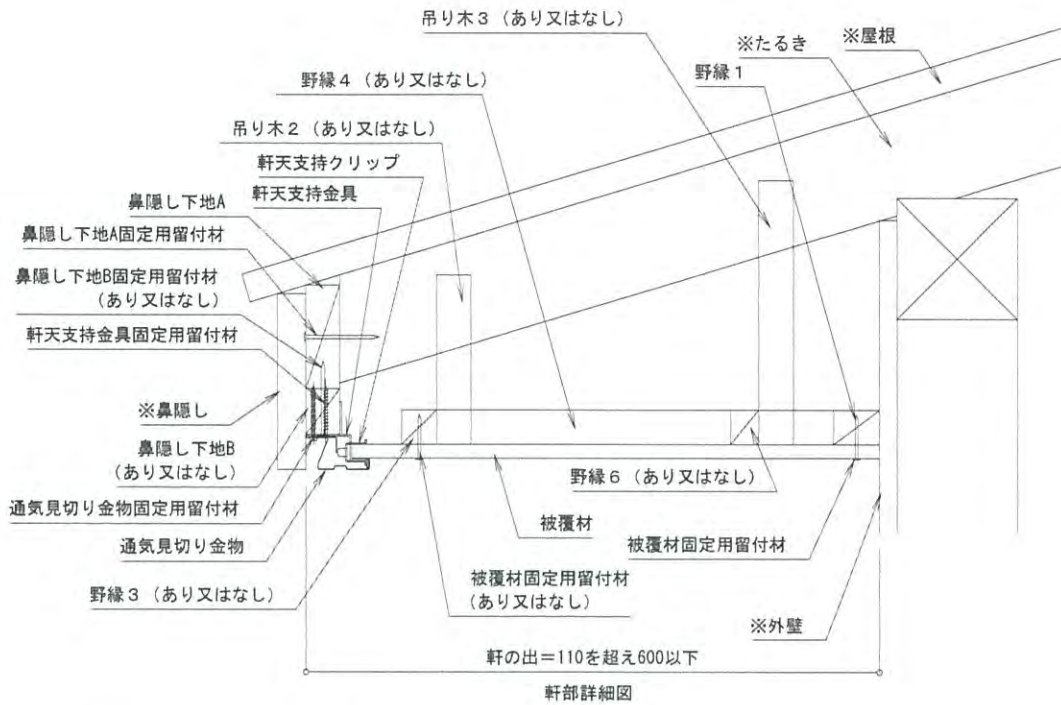
図 4 構造説明図

軒の出 110mm を超え 600mm 以下の場合

軒の形状：水平

壁勝ち

(軒勝ちは図 17 参照)

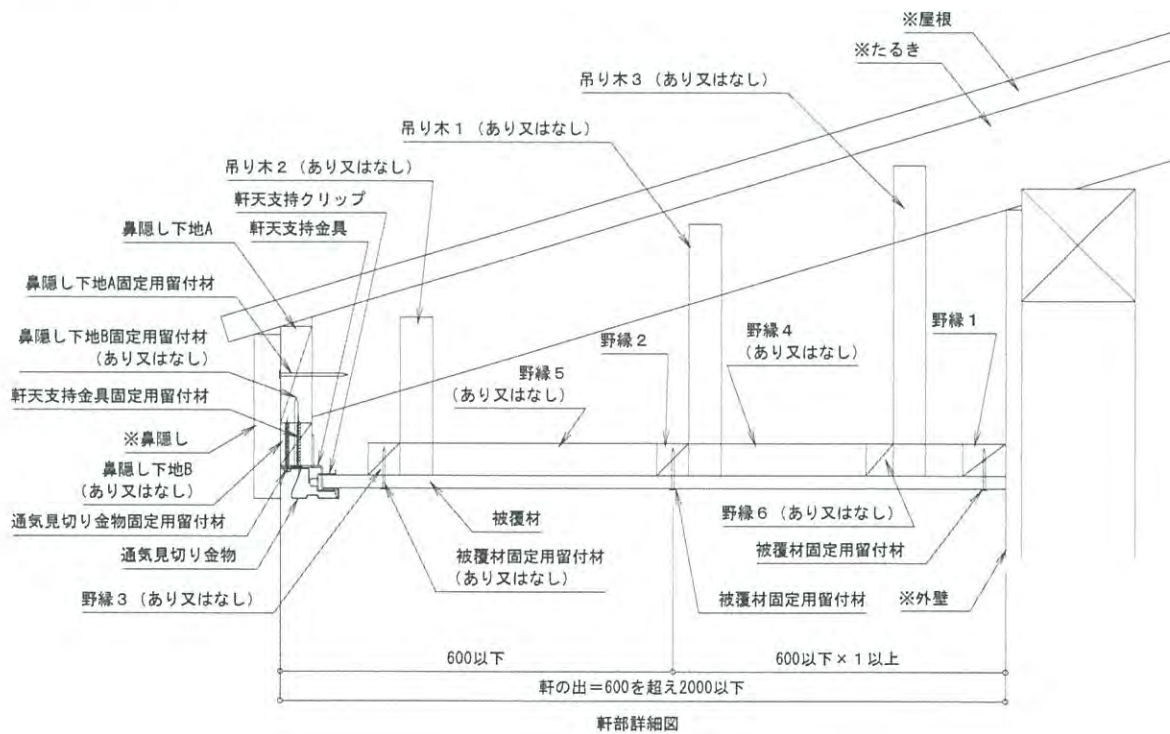


軒の出 600mm を超え 2000mm 以下の場合

軒の形状：水平

壁勝ち

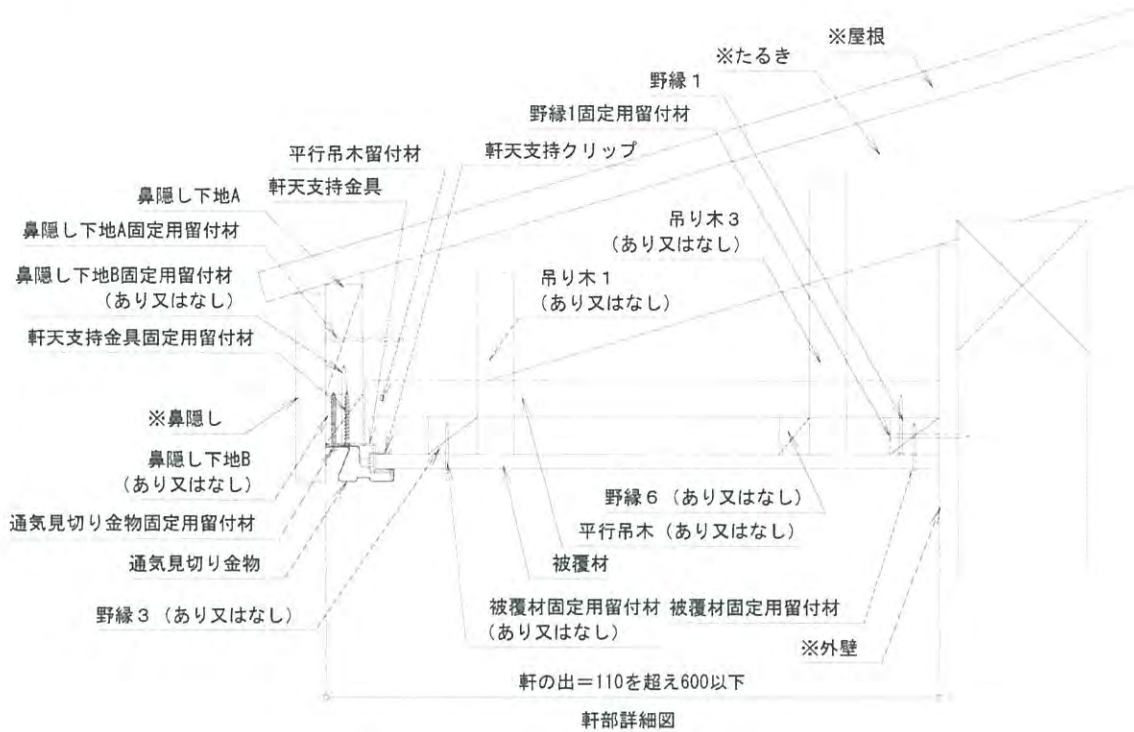
(軒勝ちは図 17 参照)



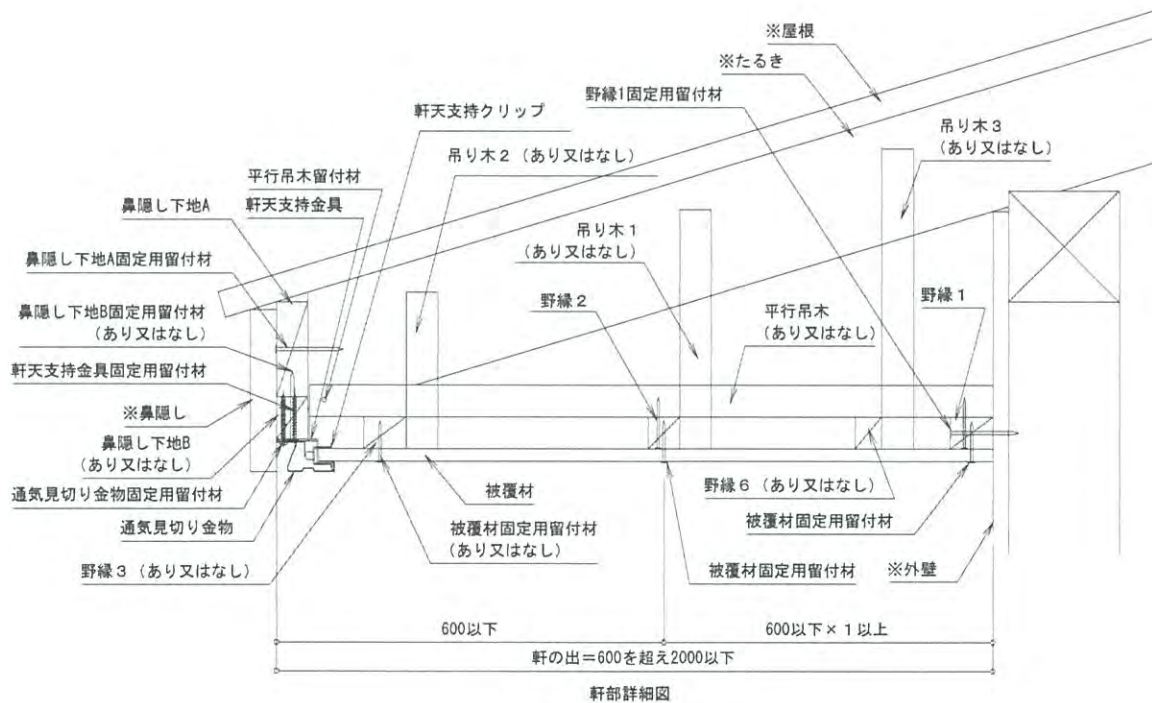
※評価対象外

図 5 構造説明図

軒の出 110mm を超え 600mm 以下の場合
 軒の形状：水平
 壁勝ち
 (軒勝ちとは図 17 参照)



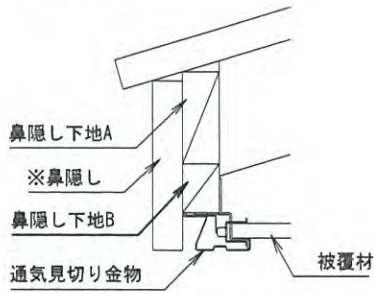
軒の出 600mm を超え 2000mm 以下の場合
 軒の形状：水平
 壁勝ち
 (軒勝ちとは図 17 参照)



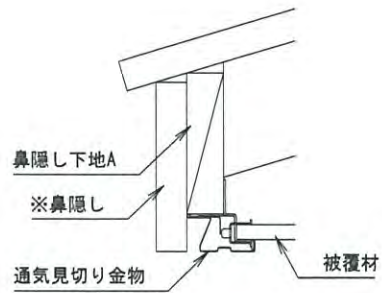
※評価対象外

図 6 構造説明図

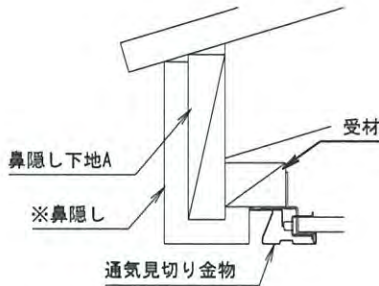
鼻隠し側の納まり



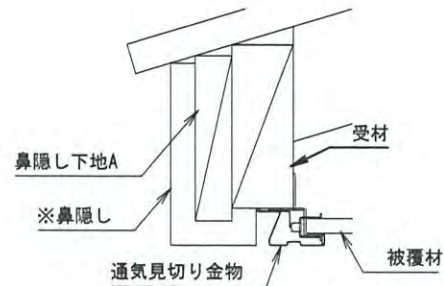
軒の形状：水平
鼻隠し下地B：あり
受材：なし



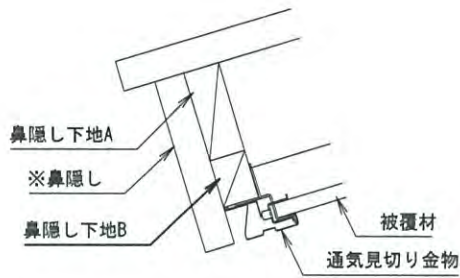
軒の形状：水平
鼻隠し下地B：なし
受材：なし



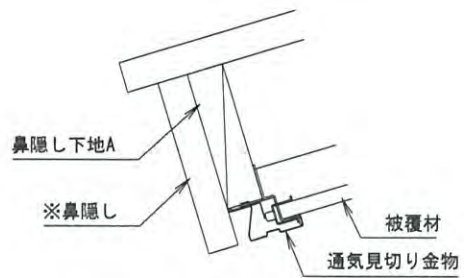
軒の形状：水平
鼻隠し下地B：なし
受材：あり



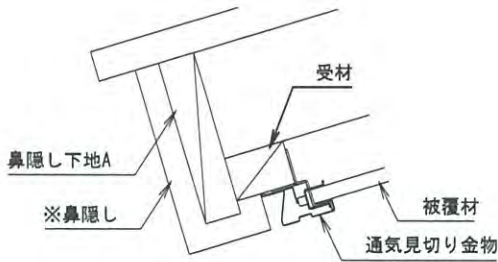
軒の形状：水平
鼻隠し下地B：なし
受材：あり（鼻隠し下地とたるきとの間に設置）



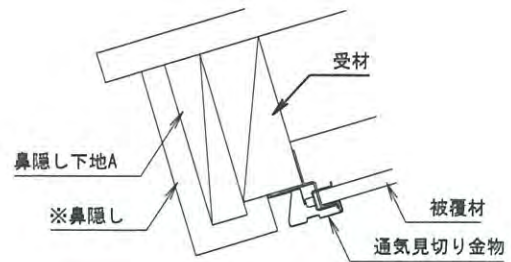
軒の形状：勾配
鼻隠し下地B：あり
受材：なし



軒の形状：勾配
鼻隠し下地B：なし
受材：なし



軒の形状：勾配
鼻隠し下地B：なし
受材：あり



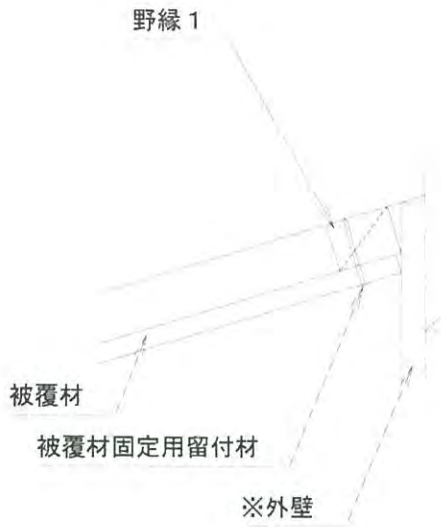
軒の形状：勾配
鼻隠し下地B：なし
受材：あり（鼻隠し下地とたるきとの間に設置）

※評価対象外

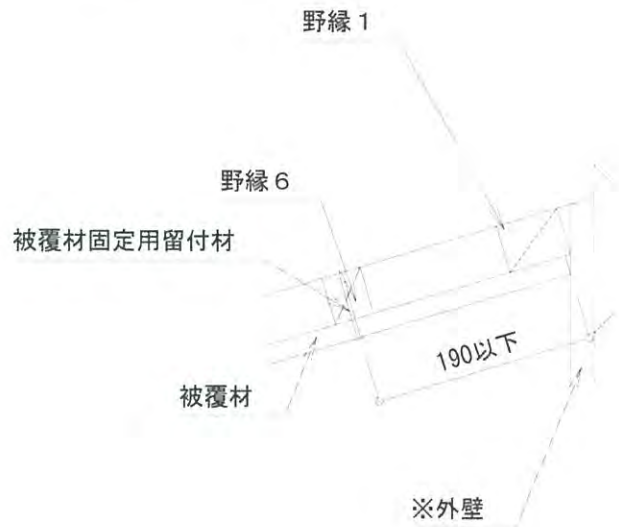
図7 構造説明図

軒元納まり

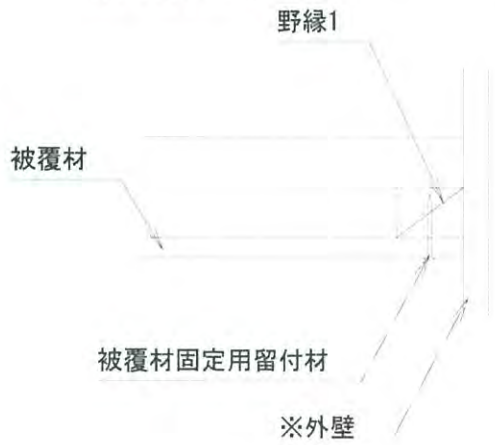
被覆材の軒元を端部で固定する場合
(軒の形状：勾配)



被覆材の軒元を端部から離して固定する場合
(軒の形状：勾配)



被覆材の軒元を端部で固定する場合
(軒の形状：水平)



被覆材の軒元を端部から離して固定する場合
(軒の形状：水平)

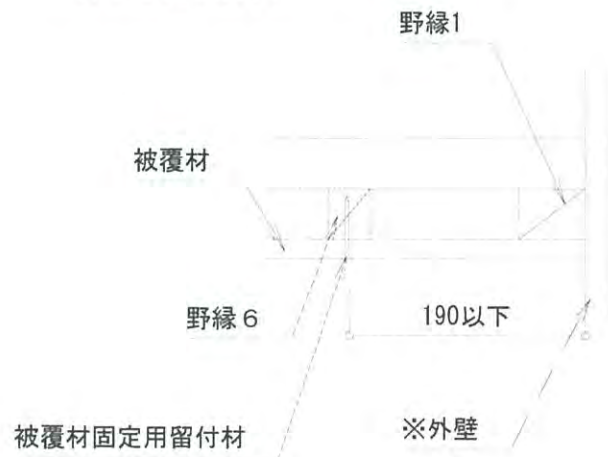
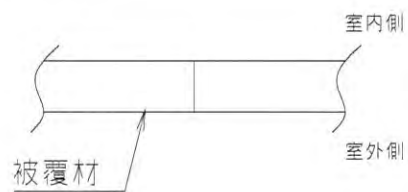


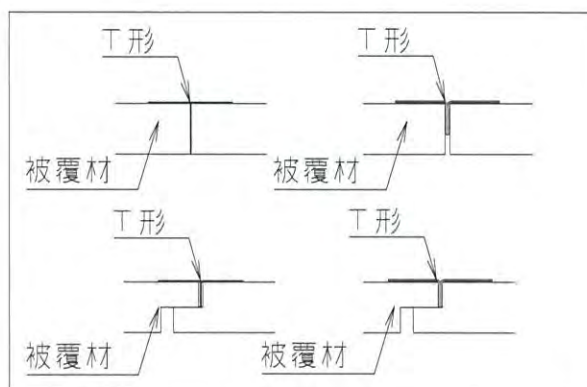
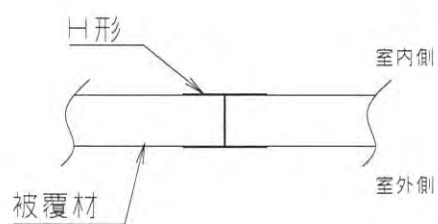
図 8 構造説明図

目地部材の仕様

①突き付け目地



②金属ジョイナー目地



③合いじゃくり目地

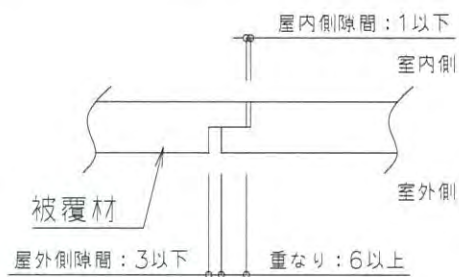
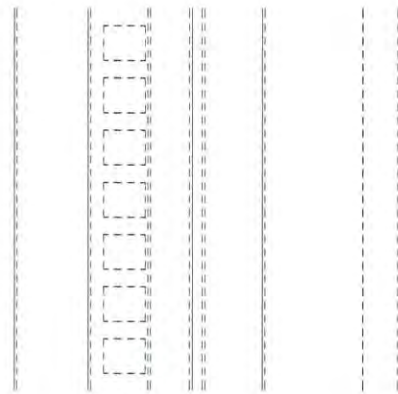
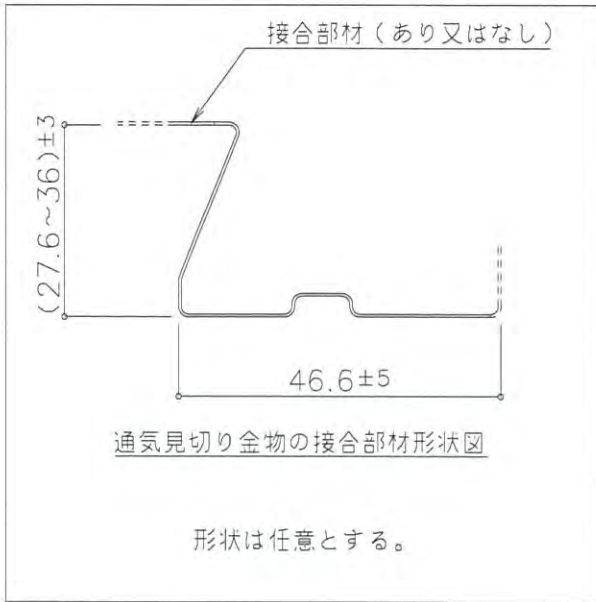
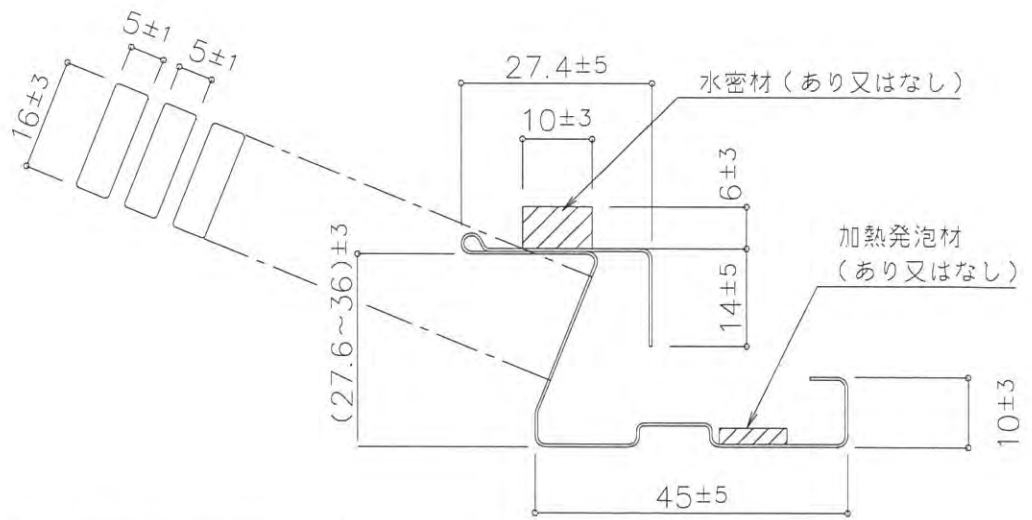
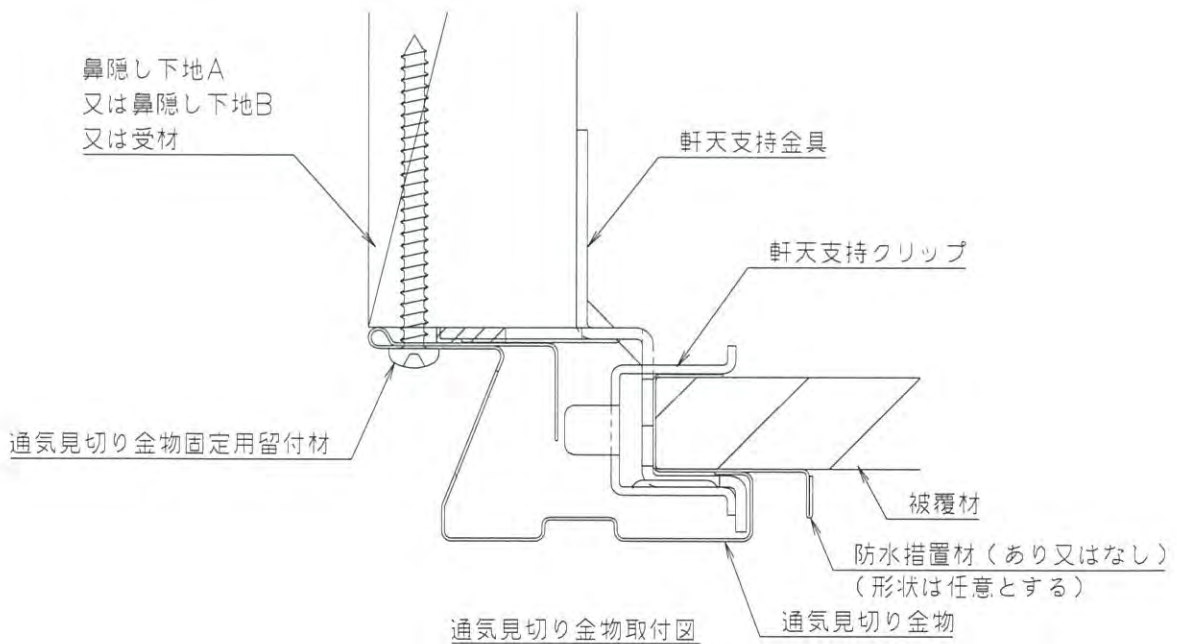


図9 構造説明図

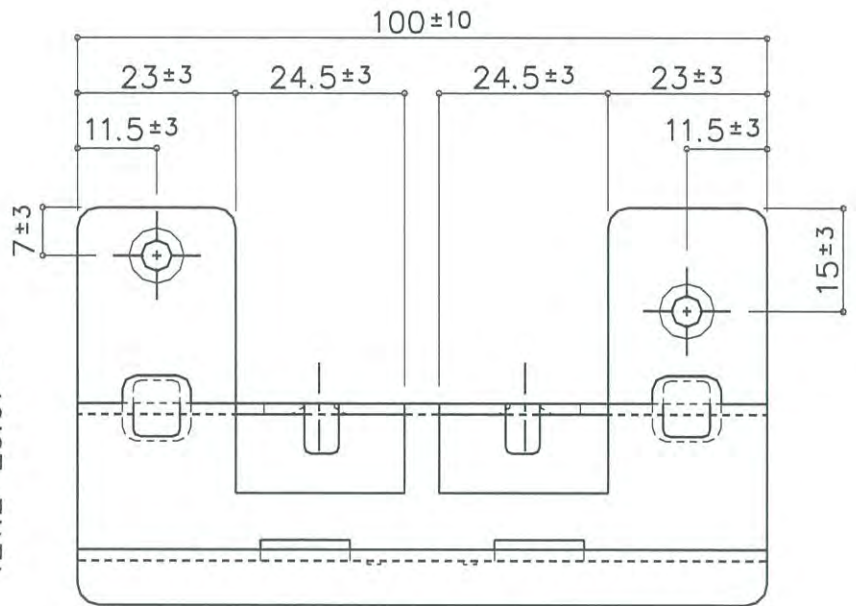
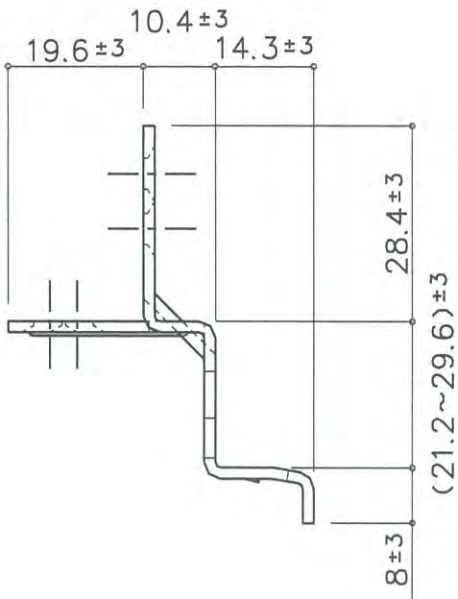
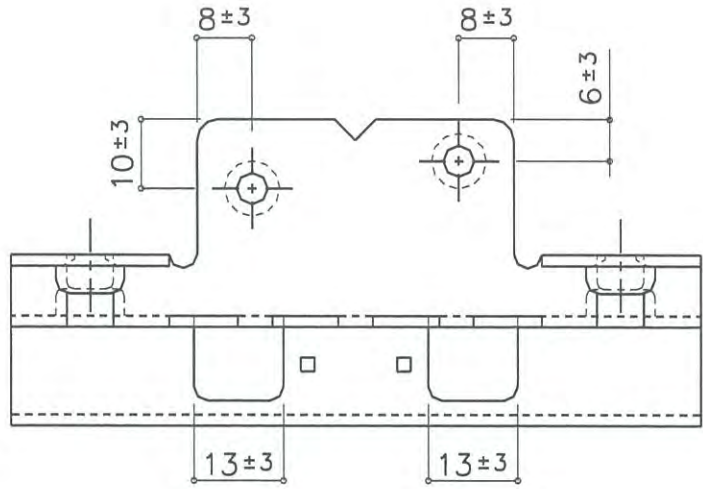
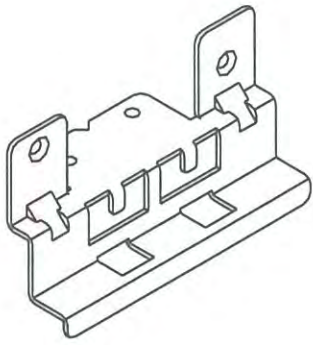


通気見切り金物形状図



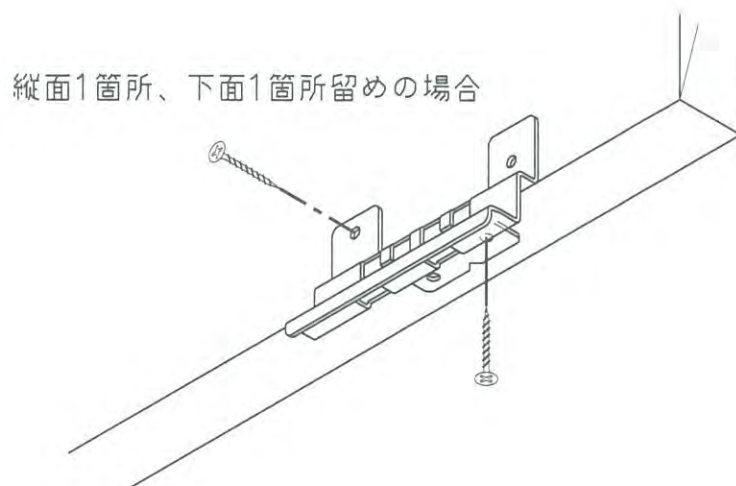
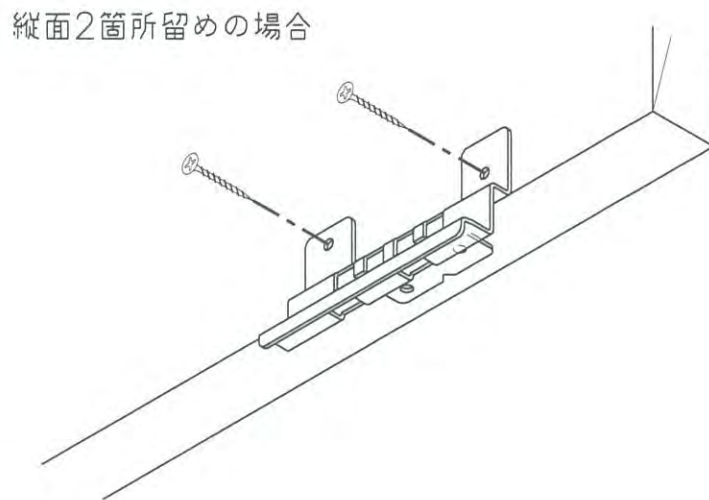
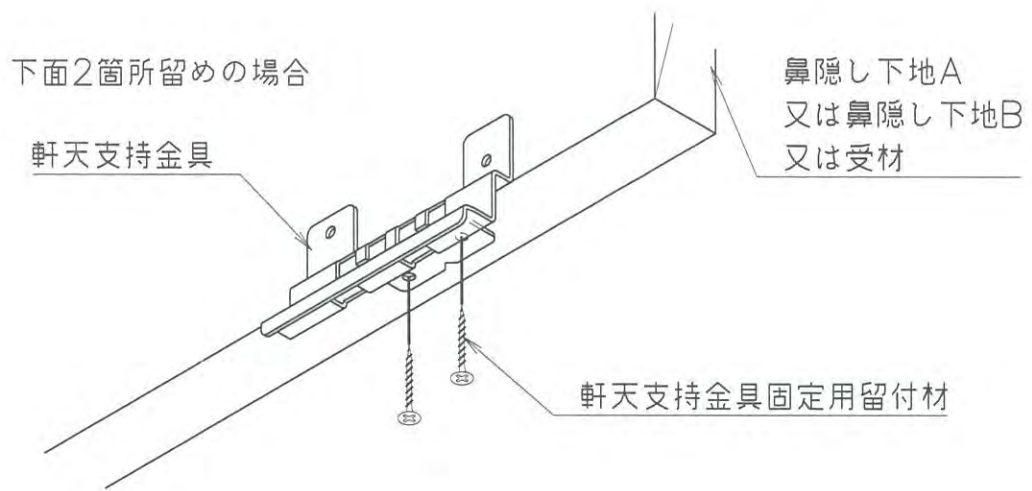
通気見切り金物取付図

図10 構造説明図



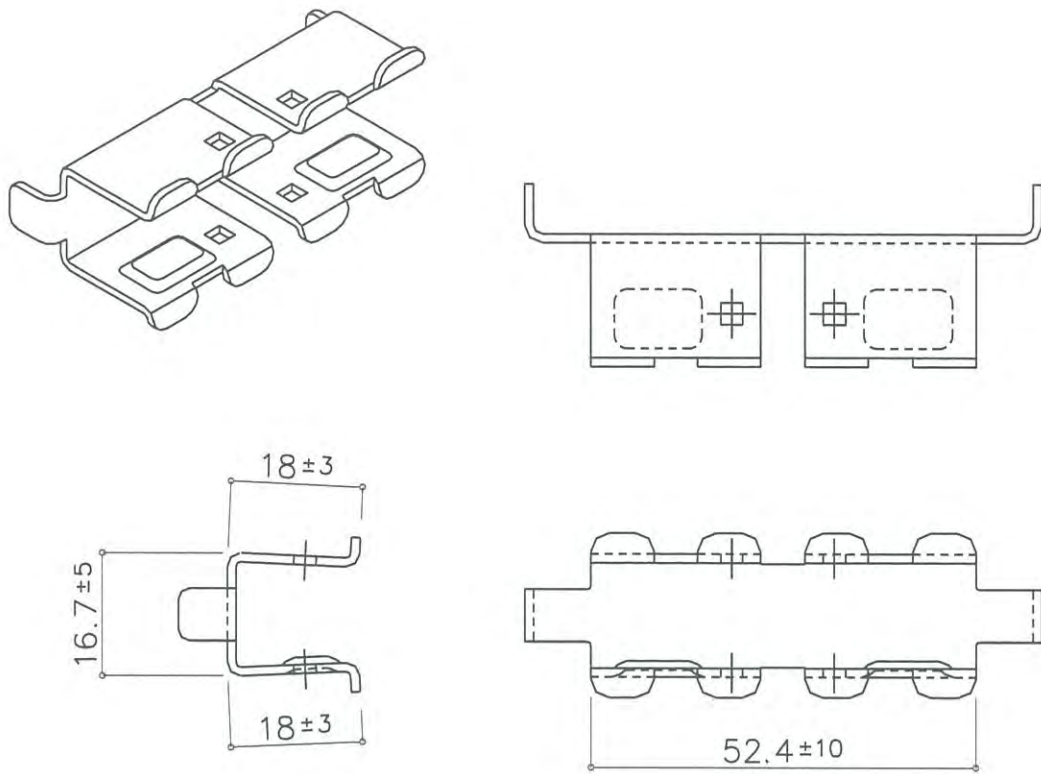
軒天支持金具形状図

図 1 1 構造説明図



軒天支持金具留付図

図12 構造説明図



軒天支持クリップ形状図

図 1 3 構造説明図

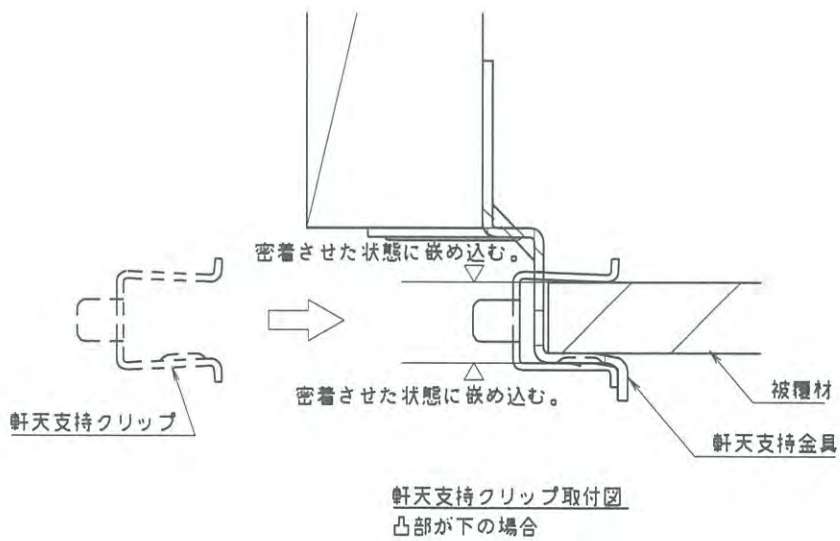
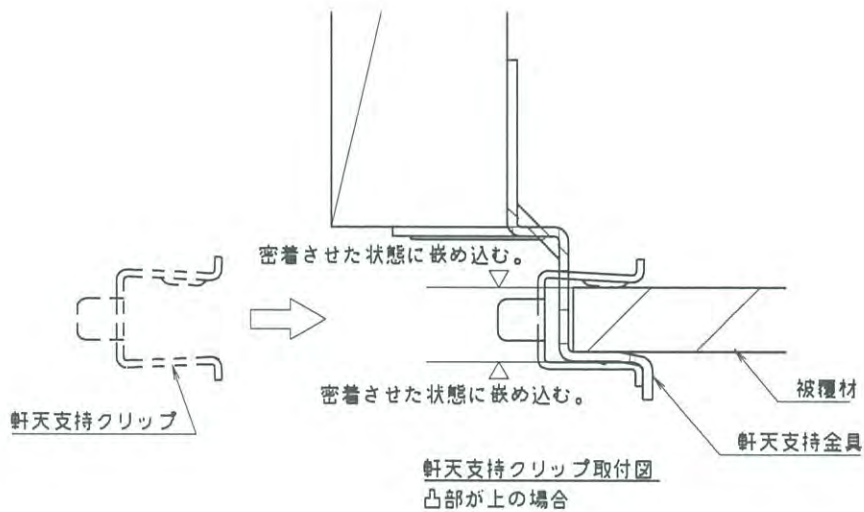
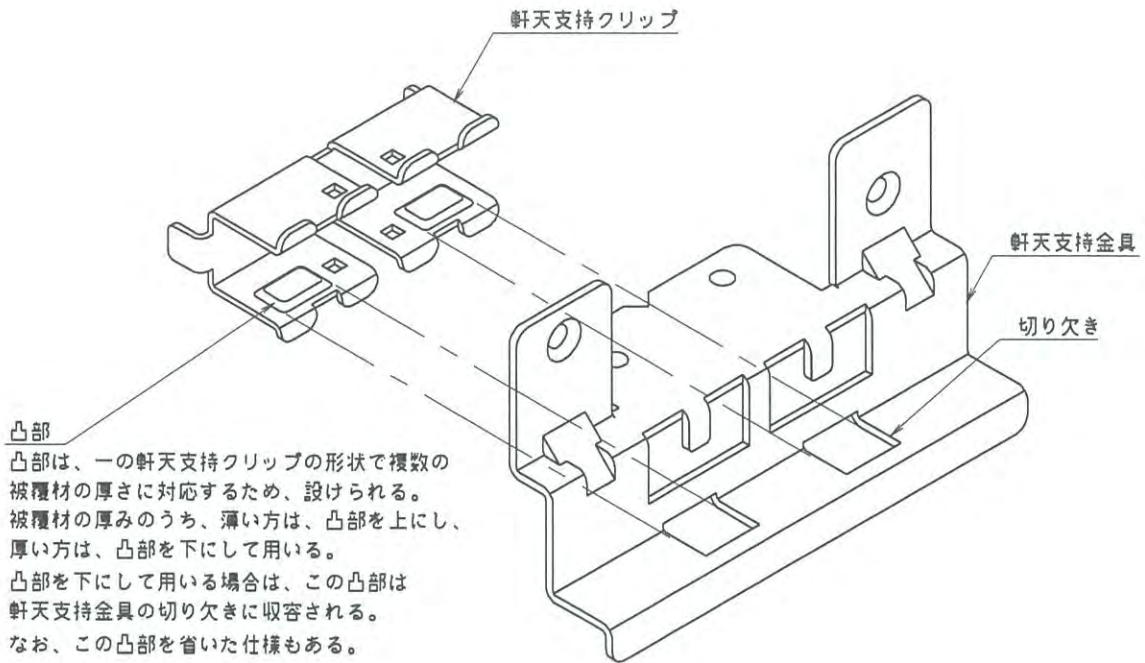
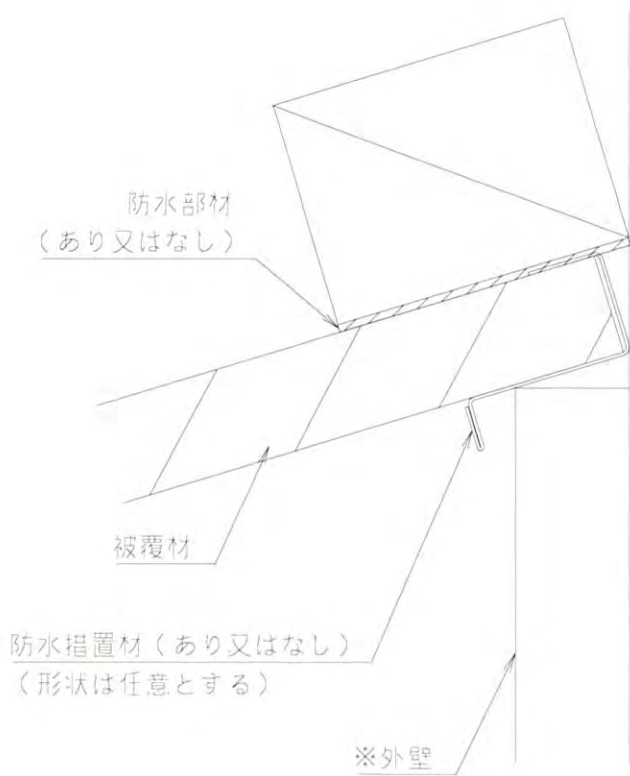
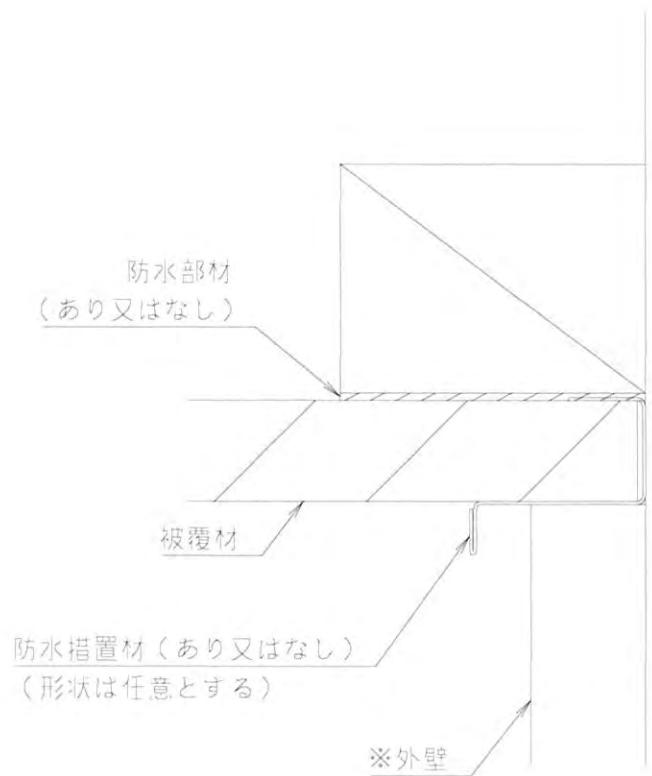


図14 構造説明図



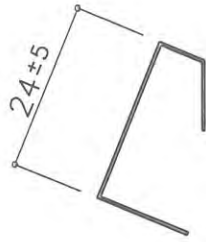
軒元防水措置材取付図
軒の形状勾配仕様の場合



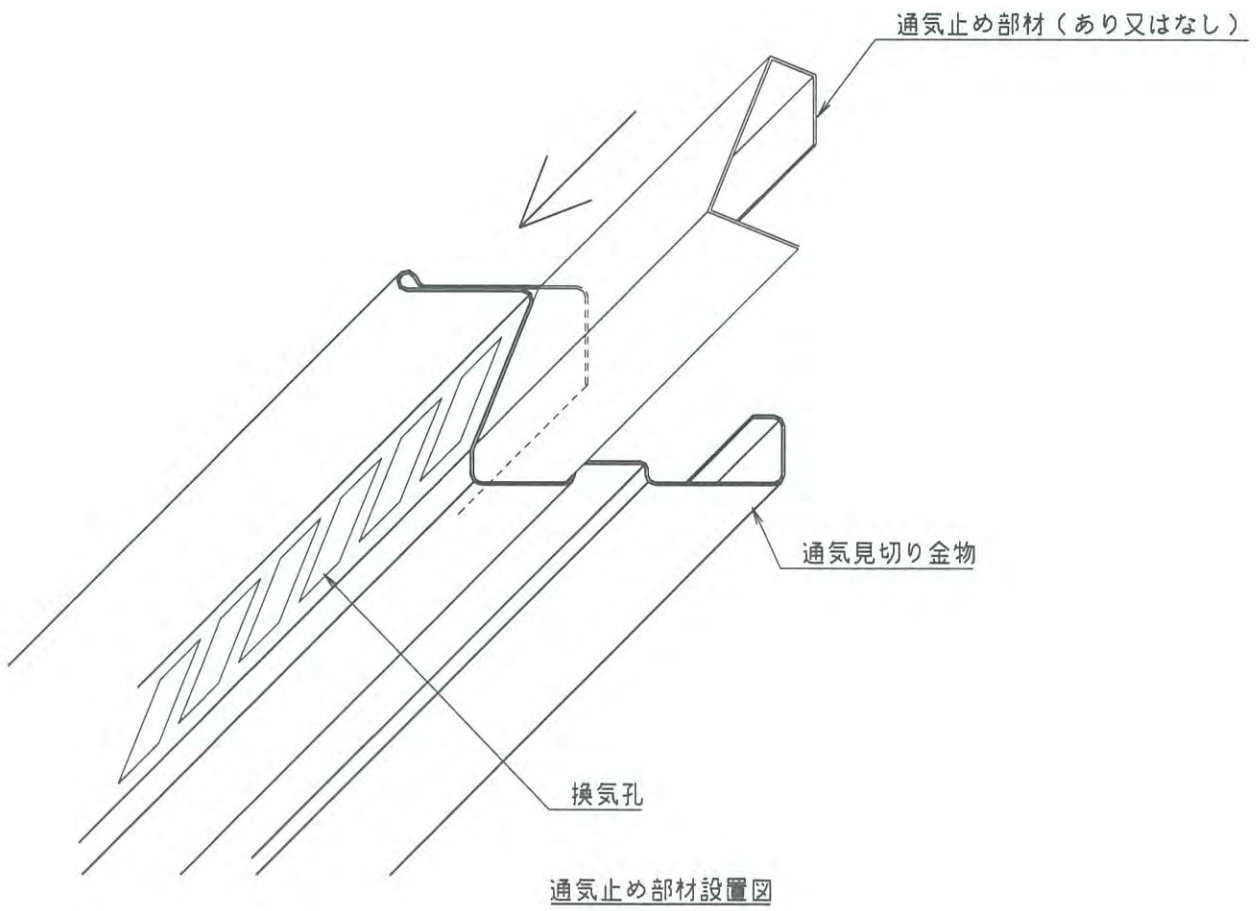
軒元防水措置材取付図
軒の形状水平仕様の場合

※評価対象外

図 1 5 構造説明図

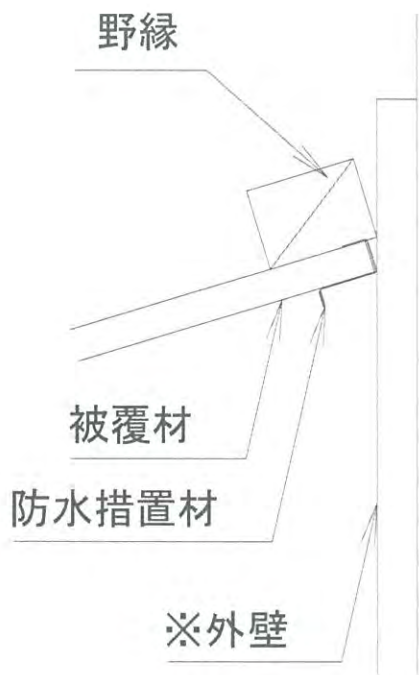


通気止め部材形状図

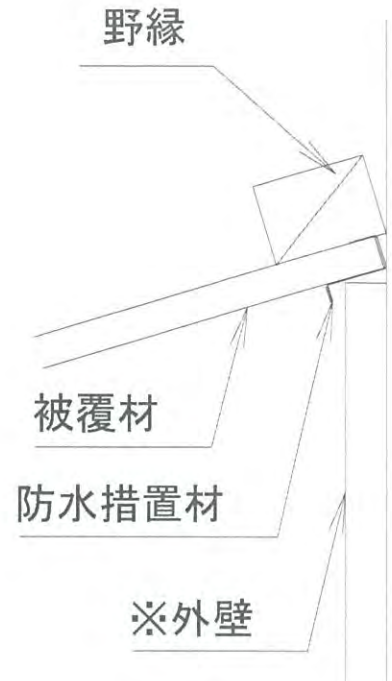


通気止め部材設置図

図 1 6 構造説明図



壁勝ち



軒勝ち

軒元の納まり

※評価対象外

図 1 7 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図18～図20に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 鼻隠し下地、受材、野縁

- ①鼻隠し下地Aを垂木又は受材に鼻隠し下地A固定用留付材を用いて固定する。
- ②鼻隠し下地Bを鼻隠し下地Aの下面に鼻隠し下地B固定用留付材を用いて固定する。ただし、軒天支持金具を直接鼻隠し下地Aに取り付ける場合は、この手順を省くことができる。
- ③受材を鼻隠し下地A又は垂木に受材固定用留付材を用いて固定する。ただし、軒天支持金具を直接鼻隠し下地A又は鼻隠し下地Bに取り付ける場合は、この手順を省く事が出来る。
- ④野縁1を垂木、躯体又は平行吊木に野縁1固定用留付材を用いて固定する。
- ⑤軒の出600mmを超える場合、野縁2を垂木、垂木に取り付けた吊り木1、又は平行吊木に、野縁2固定用留付材を用いて固定する。
- ⑥野縁3を用いる場合、垂木、垂木に取り付けた吊り木2、又は平行吊木に、野縁3固定用留付材を用いて固定する。
- ⑦野縁4を用いる場合、野縁4を垂木、野縁1、野縁2、野縁3、吊り木1又は吊り木2に野縁4固定用留付材を用いて固定する。
- ⑧野縁5を用いる場合、野縁5を垂木、野縁2、野縁3、吊り木1又は吊り木2に野縁5固定用留付材を用いて固定する。
- ⑨野縁6を用いる場合、野縁6を垂木、垂木に取り付けた吊り木3もしくは平行吊木に野縁6固定用留付材を用いて固定する。

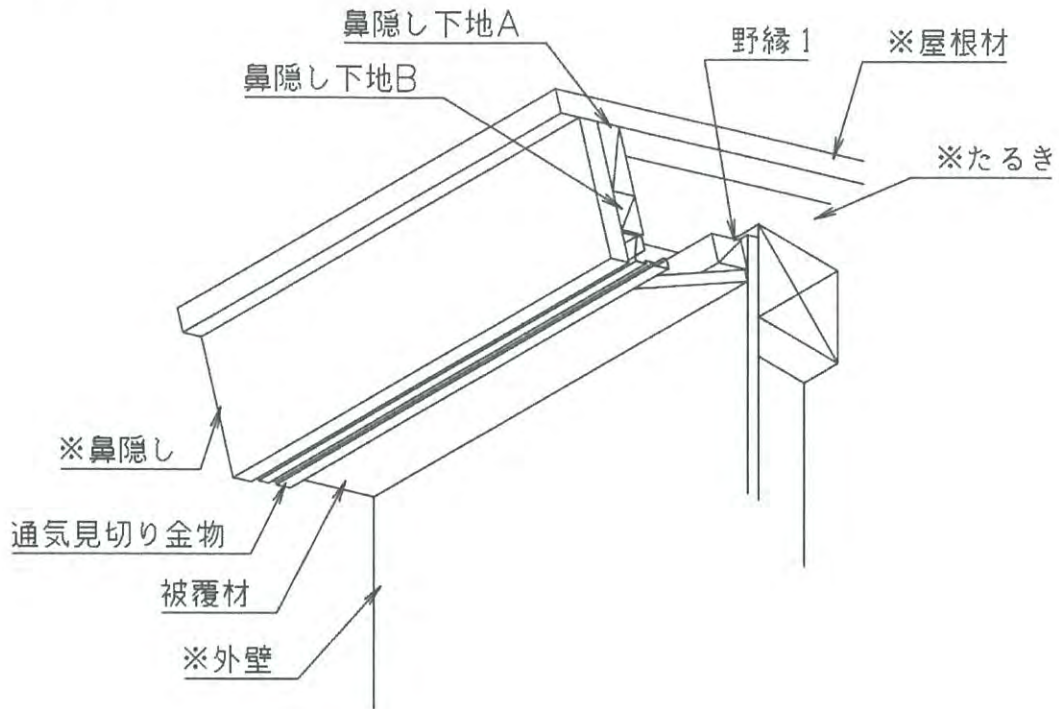
(2) 被覆材

- ①軒天支持金具を鼻隠し下地A、鼻隠し下地B又は受材に軒天支持金具固定用留付材を用いて固定する。
- ②被覆材を、野縁に被覆材固定用留付材を用いて固定する。野縁6に留め付ける場合、野縁1への留め付けはなくても良い。
- ③被覆材の鼻隠し側端部は、軒天支持クリップと軒天支持金具とで被覆材を挟み込み固定する。
- ④被覆材と外壁材の取り合いは、必要に応じて、金属製の木口見切り、シーリング材等で納める。
- ⑤被覆材の鼻隠し側端部は、必要に応じて防水措置材を差し込む。
- ⑥被覆材と外壁材の取り合いは、必要に応じて防水措置材、シーリング材等で納める。
防水措置材は仮留めのため、躯体又は野縁に接着剤又はビス等を用いて固定する場合もある。

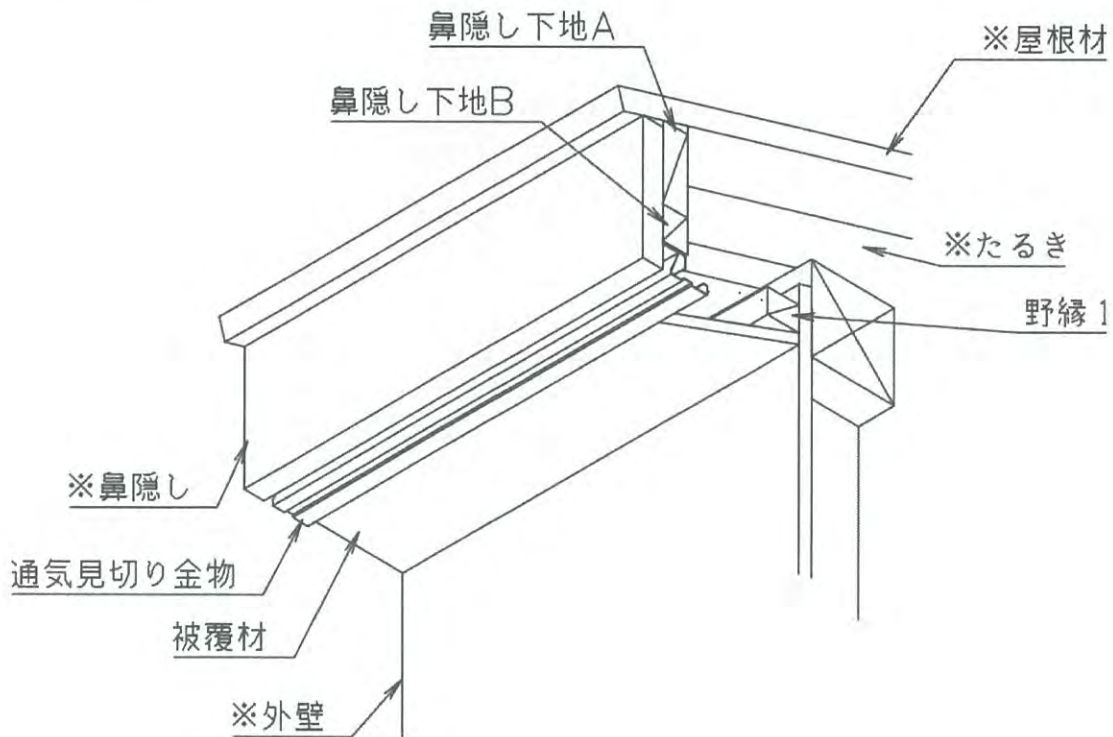
(3) 通気見切り金物

通気見切り金物を、鼻隠し下地A、鼻隠し下地B又は受材に通気見切り金物固定用留付材を用いて固定する。

軒の出：88mm～110mm
 軒の形状：勾配



軒の出：88mm～110mm
 軒の形状：水平

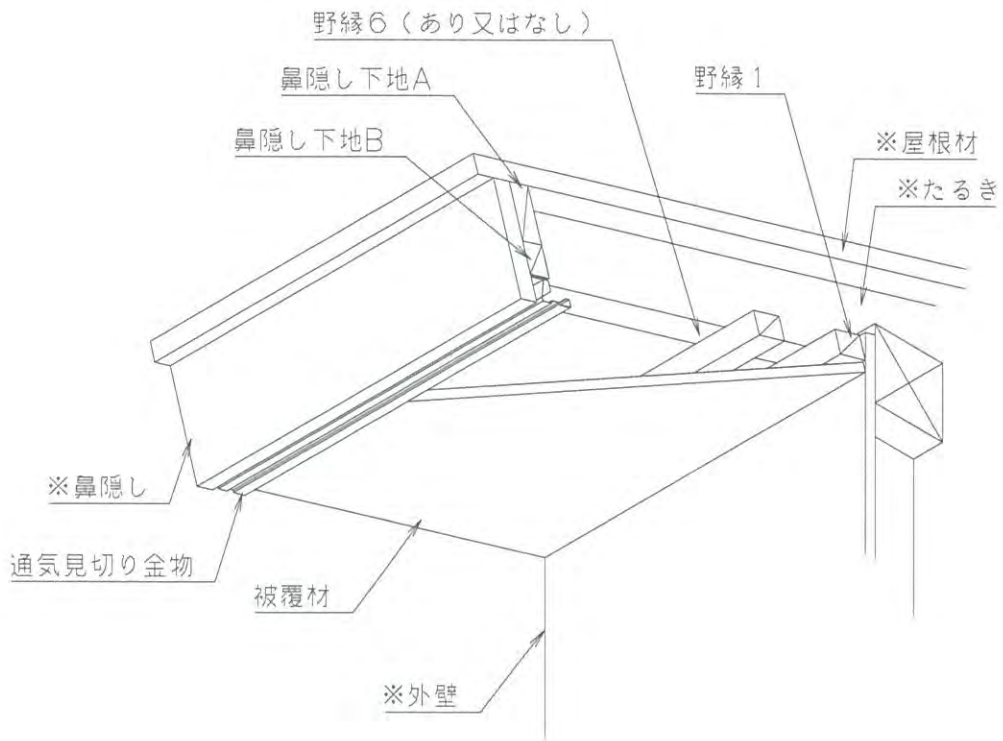


※評価対象外

図18 施工図

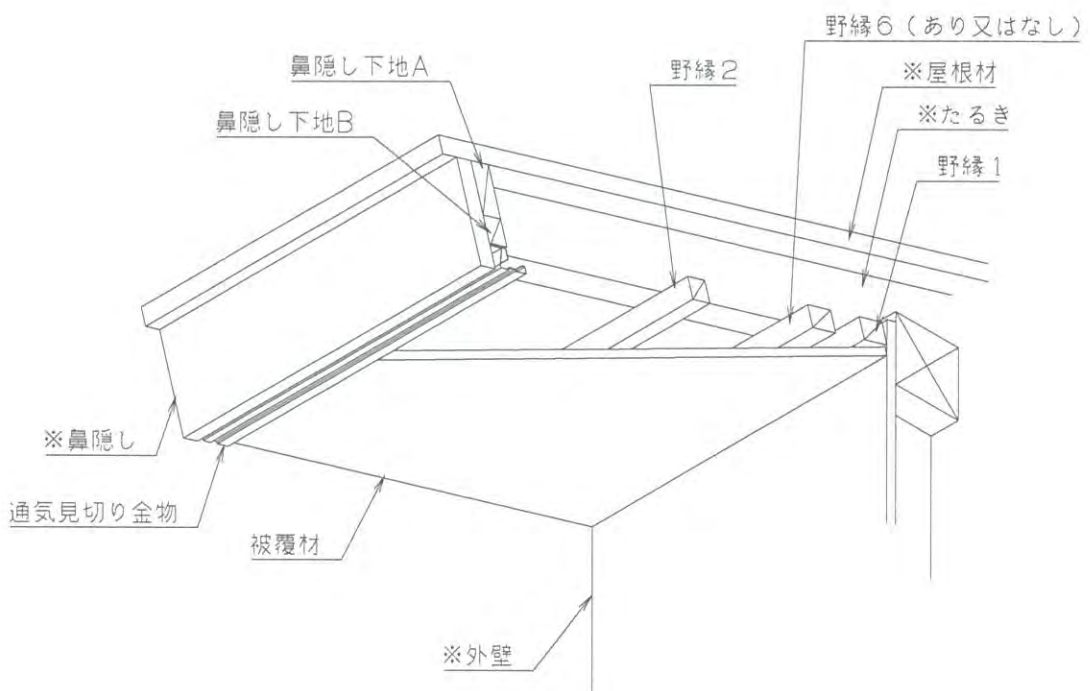
軒の形状：勾配

軒の出：110mm を超え 600mm 以下



軒の形状：勾配

軒の出：600mm を超え 2000mm 以下

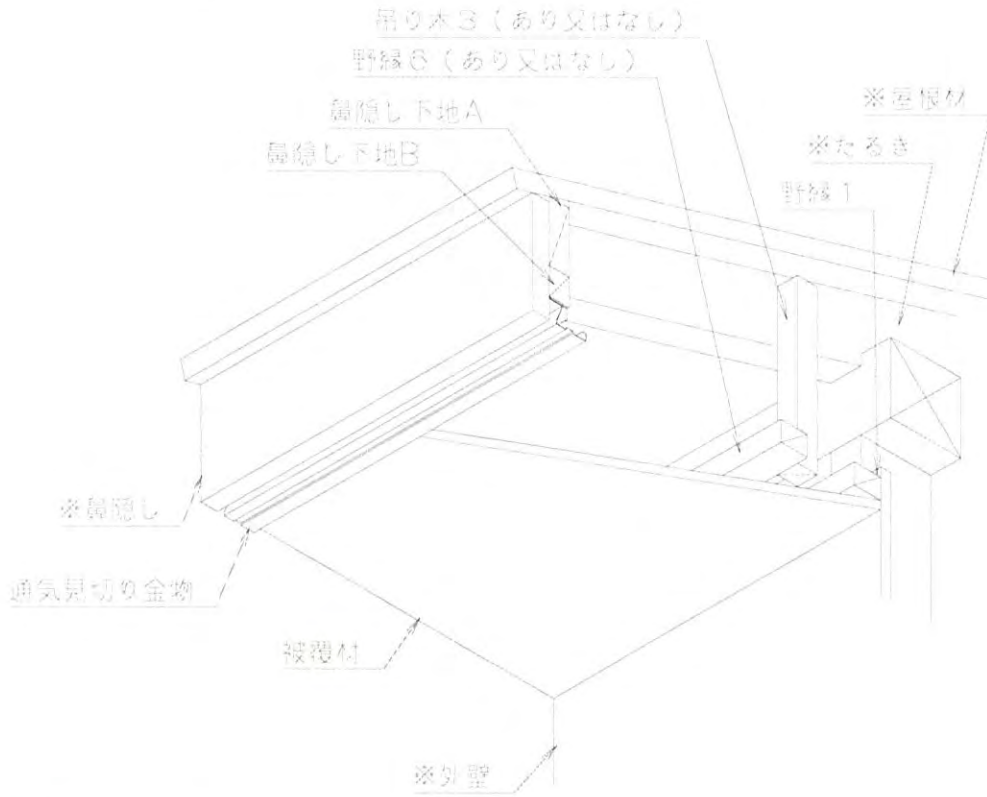


※評価対象外

図 19 施工図

軒の形状：水平

軒の出：110mm を超え 600mm 以下



軒の形状：水平

軒の出：600mm を超え 2000mm 以下

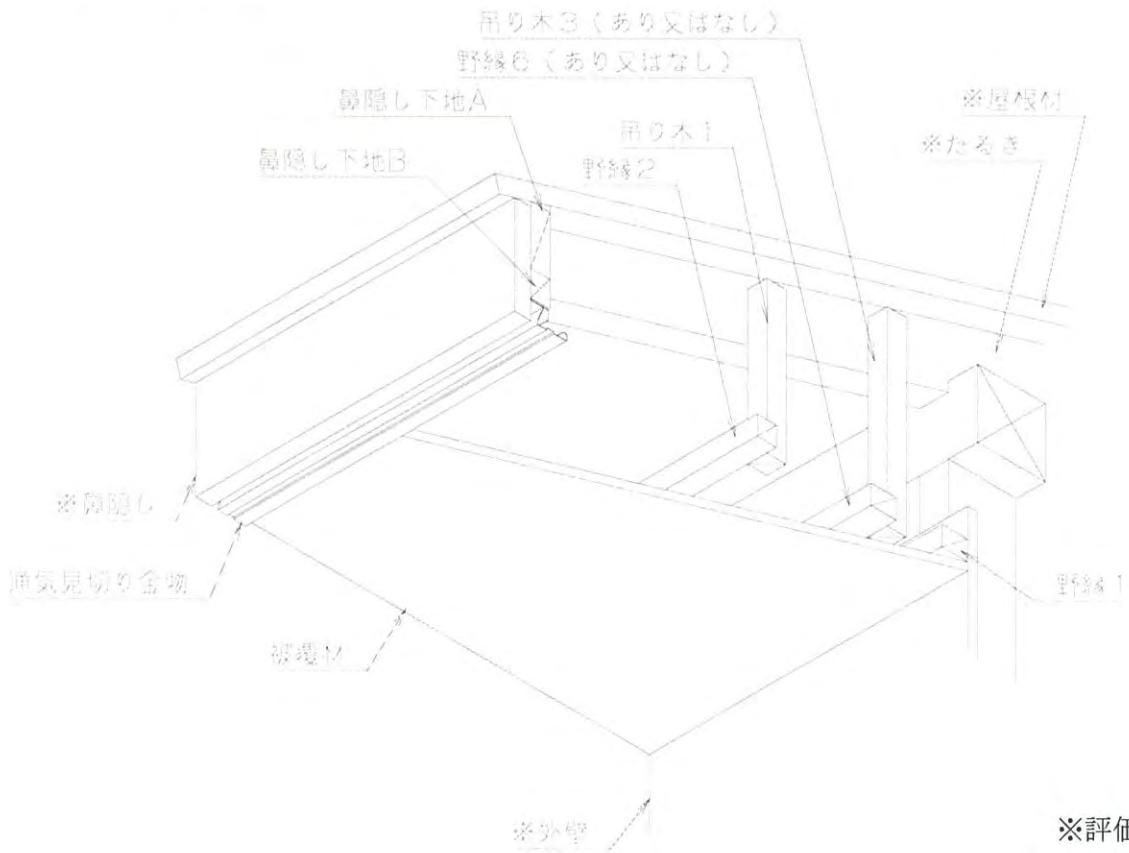


図 20 施工図